

令和4年度 大子町摺漆実技講習会実施要領

- 1 目的 日本有数のうるし産地である大子町において、漆の素晴らしさと価値の認識を深め、広く愛好者の普及に努め、延いてはうるし工芸と生産の発展に寄与する。
- 2 主催 大子漆工芸くらぶ
- 3 後援 大子町
大子町森林組合
一般社団法人大子町特産品流通公社
- 4 日時 令和4年7月2日（土）～4日（月）
午前9時から午後4時30分まで
ただし、2日は午後1時開会、4日は、午後3時閉会とする。
- 5 会場 旧西金小学校（茨城県久慈郡大子町西金 250）
- 6 講師 漆芸家 角田純一先生
漆芸家 西川雅典先生
- 7 参加者 漆工に興味のある方は、どなたでも参加できます。
- 8 募集人員 30名
- 9 参加料 8,000円
参加料は、初日に徴収します。また、参加料には、木地代や材料代は含まれませんので、別途購入願います。
- 10 申込方法 別紙申込書により申し込む。
- 11 申込締切 6月17日（金）必着
- 12 申込先 大子町役場農林課 〒319-3595 茨城県久慈郡大子町池田 2669
電話 0295-76-8110
FAX 0295-72-1968
E-mail nourin02@town.daigo.lg.jp
大子漆工芸くらぶ事務局（問い合わせ先参照）
- 13 食事 昼食については、各自持参してください。
なお、当日の朝、1食500円にて弁当の注文を賜ります。
- 14 宿泊 宿泊をご希望の方は大子町観光協会にお問い合わせいただき、各自で手配願います。
大子町観光協会 電話／0295-72-0285
- 15 問合せ先 大子漆工芸くらぶ
佐藤 電話 0295-74-1118
深谷 電話 090-2537-8390（携帯）
FAX 0295-79-3111

- 16 講習内容 【初めて参加される方・・・A班】
- ・摺漆の基礎
 - ・厚貝の嵌入
 - ・線刻による金彩
 - ・金箔，色箔による加飾
 - ・蒔絵，漆絵による補彩

【2回以上の参加の方・・・B班】

- ・沈金、研出蒔絵技法
- ・乾漆、意匠塗技法
- ・各自制作中の技法指導

※研修したい技法を選んで参加ください。

- 17 講習会で使用する木地・道具材料等について

参加申込書でご注文のあった道具材料等については、当日代金と引き替えにお渡ししますので、つり銭の無いようお願いいたします。

【初めて参加される方・・・A班】

初めて参加される方については、参加申込書で御注文いただく木地セットを使用します。また、次の物品を用意してください。

	物 品 名	数 量	備 考
1	段ボール箱（大）漆の乾燥用	1 個	蓋付きの箱のもの
2	ゴム手袋（医療用等の薄手の手袋）	数枚	かぶれを防ぐため
3	カッターナイフ	1 個	
4	はさみ	1 個	
5	筆（水彩・書道用～墨絵にて使用）	1 本	
6	彫刻刀（切出し刀・平刀・三角刀）	各 1 本	
7	消しゴム（四角い状態のもの）	2 個	
8	定規（20～30cm程度）	1 本	
9	鉛筆等筆記具	1 式	
10	タオル（乾燥風呂の中を湿すのに使用）	3 枚	
11	ティッシュペーパー	1 箱	
12	作業着（エプロン等でも可）	1 枚	
13	うでぬき	1 枚	かぶれを防ぐため
14	新聞紙	適当	
15	ぼろ布（後片づけに使用）	適当	
16	古いセトモノの皿（直径10cm、15cm）	2 枚	漆の受皿

【2回以上の参加の方・・・B班】

- ・沈金技法、研出蒔絵技法を研修したい方は、漆器（塗物）を用意してください。なお、漆器の用意ができない方へは、小パネルを販売いたします。

- ・乾漆による素地づくりを研修したい方は、次の物品を用意してください。

	物 品 名	数 量	備 考
1	水粘土	適当	
2	粘土へら	1 本	
3	寒冷紗（糊付）	1 m	申込書で購入可
4	和紙	1 m	
5	たこ糸	1 巻	

- ・意匠塗りの研修をしたい方は、次の物品を用意してください。

	物 品 名	数 量	備 考
1	摺漆を施した作品	1 個	
2	意匠塗りを途中まで施した作品 （色漆を3～5回施したもの）	1 個	未経験者は用意する必要はありません